

鹿児島市感染症情報

発行元：鹿児島市保健所

ホームページ <http://www.city.kagoshima.lg.jp> >健康・福祉 >健康・医療 >流行疾患、感染症 >感染症の発生状況

感染症発生動向調査とは…

1981年（昭和56年）から全国で行われている調査事業で、1999年（平成11年）4月に「感染症法」が施行されたことにより、感染症対策の一つとして位置づけられ、感染症の発生状況を毎週、把握・分析し、情報提供することにより、感染症の発生及びまん延を防止することを目的として行われています。

調査対象の疾患は「全数把握対象疾患」と「定点把握対象疾患」に分けられています。

- ・全数把握対象疾患：すべての医療機関において、その疾患を診断した場合に届け出るもの
- ・定点把握対象疾患：指定された医療機関（定点医療機関）において、その疾患を診断した患者数を毎週報告するもの

●全数把握対象疾患の届出状況（患者を診断した医師から届出があった疾患）

類型	疾患名・届出数
1類感染症	届出はありません
2類感染症	届出はありません
3類感染症	届出はありません
4類感染症	つつが虫病1例
5類感染症	侵襲性インフルエンザ菌感染症1例、百日咳4例

●定点把握対象疾患の届出状況（市内の指定医療機関（定点）からの報告）

- ・指定医療機関数（定点）：インフルエンザ定点23、小児科13、眼科4、基幹1

定点あたりの患者数（上位5疾患）を掲載（全体の数は次ページに掲載）

※定点あたりの患者数＝1週間あたりの1医療機関の患者数の平均

順位	疾患名	前週	今週	警報・注意報等
1	インフルエンザ	17.26	16.78 ↓	警報開始基準値：30 注意報開始基準値：10
2	感染性胃腸炎	14.46	11.00 ↓	警報開始基準値：20 注意報開始基準値：—
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7.92	4.62 ↓	警報開始基準値：8 注意報開始基準値：—
4	咽頭結膜熱	2.92	2.31 ↓	警報開始基準値：3 注意報開始基準値：—
5	水痘	2.77	1.62 ↓	警報開始基準値：2 注意報開始基準値：1

- ・第51週からインフルエンザが注意報開始基準値を超えています。
- ・第47週から水痘が注意報開始基準値を超えています。
- ・全国的に梅毒の報告数が増加しており、本市でも第52週の時点での報告数が37件で、2017年1年間の報告数の2倍以上となっています。

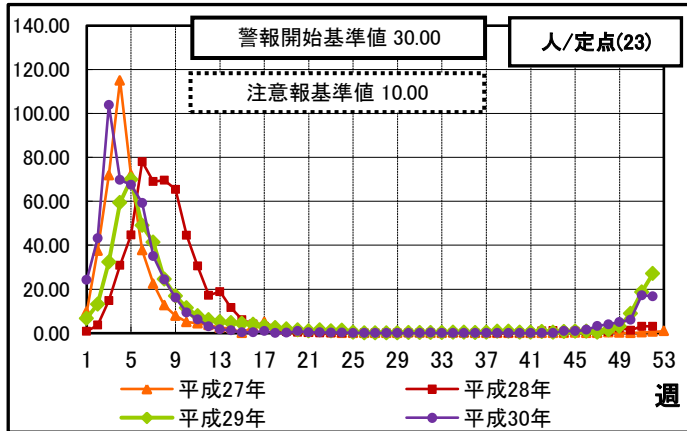
●疾患別報告数・定点当たり報告数（色の付いている疾患が定点当たり上位5位）

定点種別	前週比	疾患名	週	52	51	50	49	48	47	平成30年
				(本週)	(前週)	(2週前)	(3週前)	(4週前)	(5週前)	報告数合計
インフルエンザ	▼	インフルエンザ	報告数	386	397	141	116	93	75	12,102
			定点当たり	16.78	17.26	6.13	5.04	4.04	3.26	—
小児科	△	RSウイルス	報告数	6	3	8	5	3	0	1,194
			定点当たり	0.46	0.23	0.62	0.38	0.23	0.00	—
	▼	咽頭結膜熱	報告数	30	38	50	38	27	27	771
			定点当たり	2.31	2.92	3.85	2.92	2.08	2.08	—
	▼	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	60	103	85	95	79	76	3,335
			定点当たり	4.62	7.92	6.54	7.31	6.08	5.85	—
	▼	感染性胃腸炎	報告数	143	188	166	190	180	154	6,642
			定点当たり	11.00	14.46	12.77	14.62	13.85	11.85	—
	▼	水痘	報告数	21	36	19	22	22	18	430
			定点当たり	1.62	2.77	1.46	1.69	1.69	1.38	—
	△	手足口病	報告数	8	6	0	1	0	2	2,017
			定点当たり	0.62	0.46	0.00	0.08	0.00	0.15	—
	▼	伝染性紅斑	報告数	6	11	5	16	8	3	125
			定点当たり	0.46	0.85	0.38	1.23	0.62	0.23	—
	▼	突発性発疹	報告数	6	11	7	9	11	11	539
			定点当たり	0.46	0.85	0.54	0.69	0.85	0.85	—
	△	ヘルパンギーナ	報告数	4	0	2	1	2	5	531
			定点当たり	0.31	0.00	0.15	0.08	0.15	0.38	—
△	流行性耳下腺炎	報告数	2	1	4	3	3	2	173	
		定点当たり	0.15	0.08	0.31	0.23	0.23	0.15	—	
眼	=	急性出血性結膜炎	報告数	0	0	0	0	0	0	1
			定点当たり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—
▼	流行性角結膜炎	報告数	2	4	1	0	5	2	135	
		定点当たり	0.50	1.00	0.25	0.00	1.25	0.50	—	
基幹	=	細菌性髄膜炎	報告数	0	0	0	0	0	0	3
			定点当たり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—
	=	無菌性髄膜炎	報告数	0	0	0	0	0	0	2
			定点当たり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—
	=	マイコプラズマ肺炎	報告数	0	0	0	0	0	0	0
			定点当たり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—
	=	クラミジア肺炎	報告数	0	0	0	0	0	0	0
			定点当たり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—
	=	口タウウイルス	報告数	0	0	0	0	0	0	5
			定点当たり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—
報告数合計				674	798	488	496	433	375	28,005

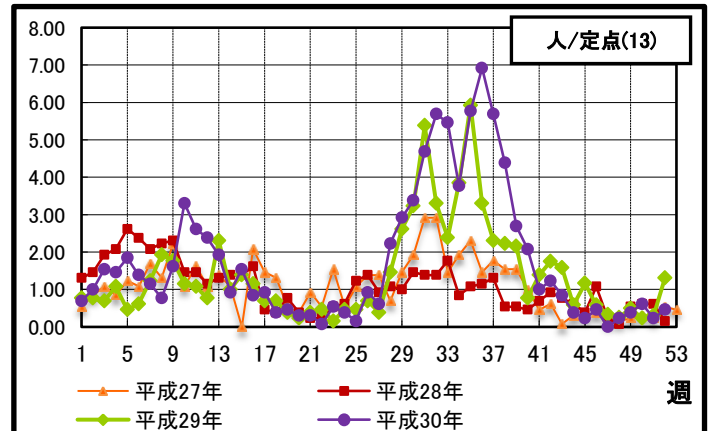
※「前週比」欄において、「△」は報告数の男女合計が前週比増加、「＝」は横ばい、「▼」は減少を示す。

● 各疾病の報告状況の推移 (比較 その1)

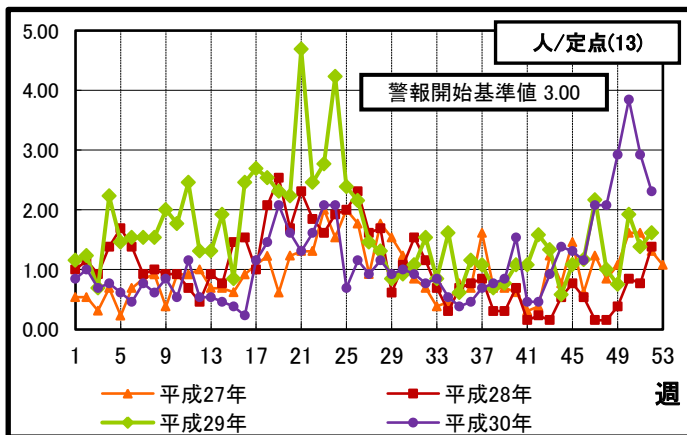
【 インフルエンザ 】



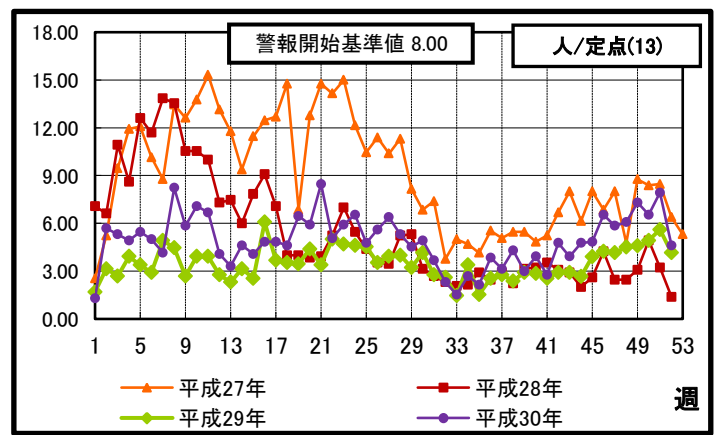
【 R S ウイルス 感染症 】



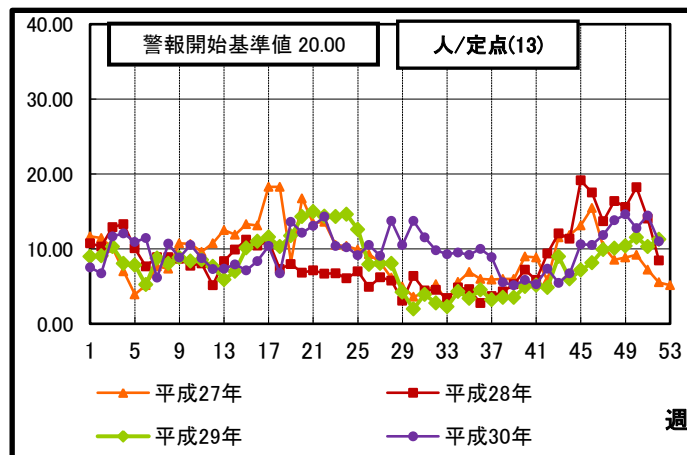
【 咽頭結膜熱 (プール熱) 】



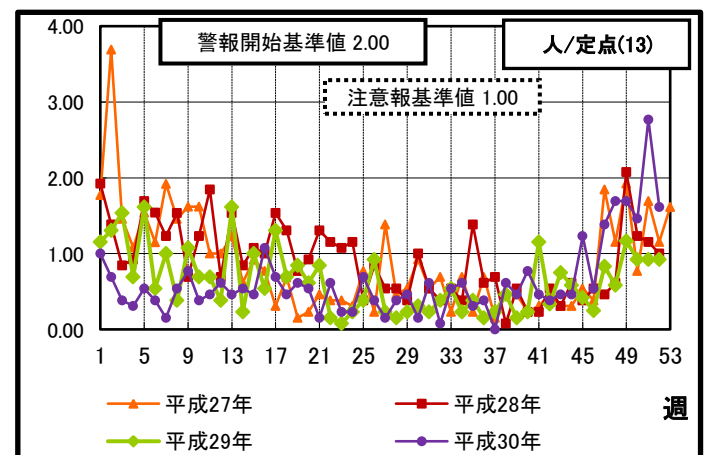
【 A 群 溶 血 性 レン サ 球 菌 咽 頭 炎 】



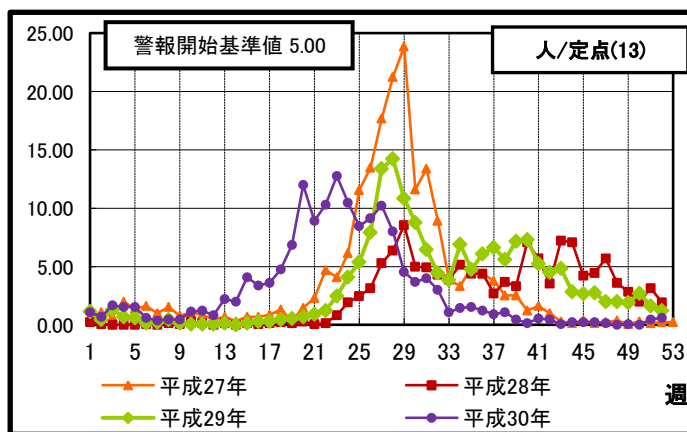
【 感 染 性 胃 腸 炎 (お う 吐 下 痢 症) 】



【 水 痘 (み ず ぼう そう) 】



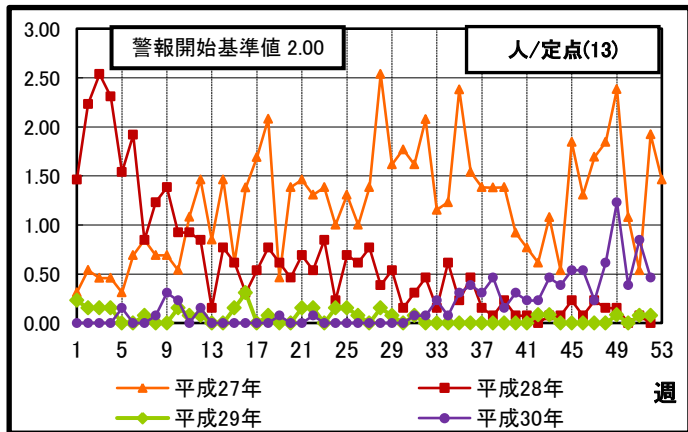
【 手 足 口 病 】



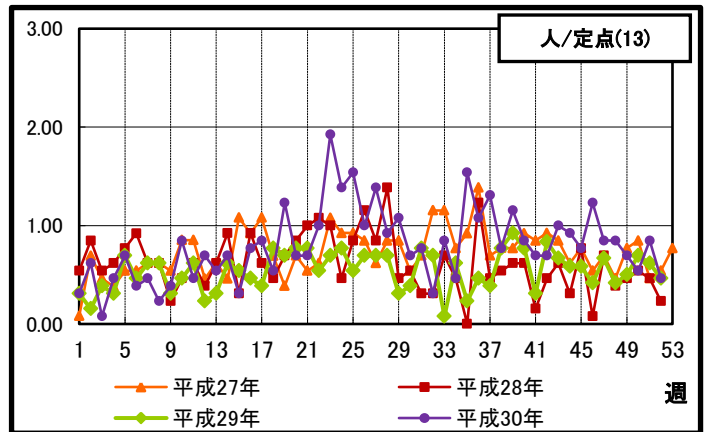
縦軸の値
⇒ 報告数 ÷ 報告義務がある医療機関数
横軸の値
⇒ 報告を受けた週

● 各疾病の報告状況の推移 (比較 その2)

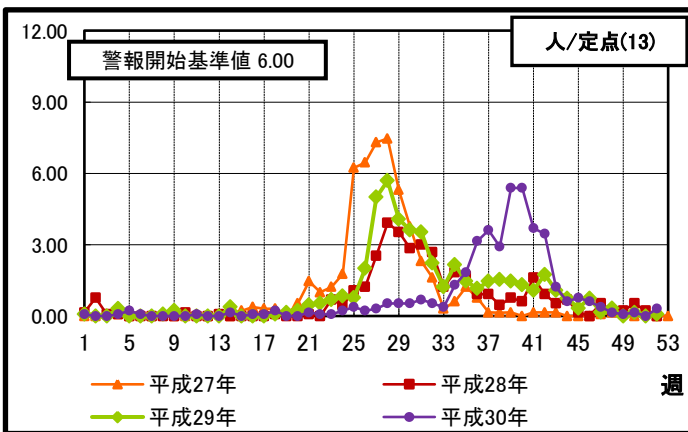
【 伝 染 性 紅 斑 (り ん ご 病) 】



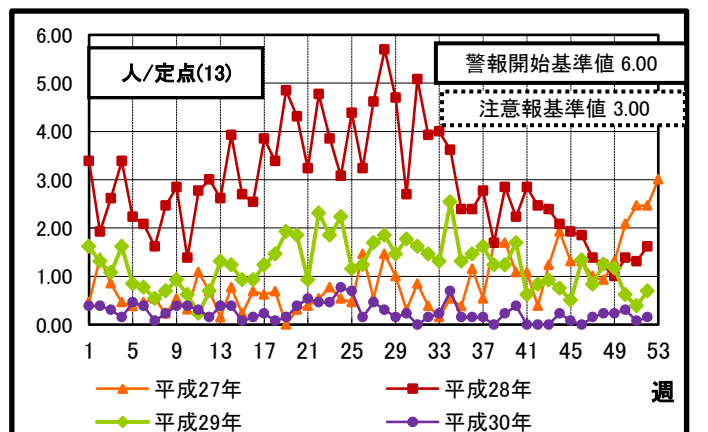
【 突 発 性 発 疹 】



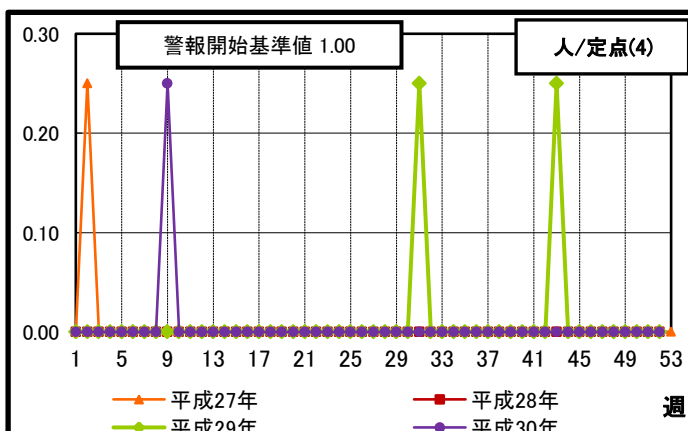
【 ハ ル パ ン ギ ー ナ 】



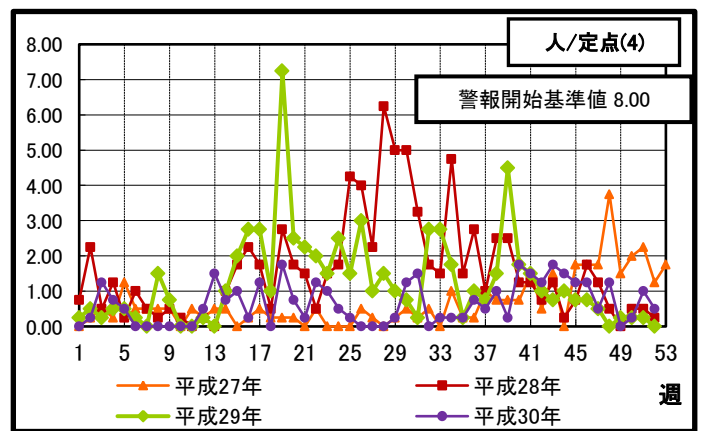
【 流 行 性 耳 下 腺 炎 (お た ふ く か ぜ) 】



【 急 性 出 血 性 結 膜 炎 】

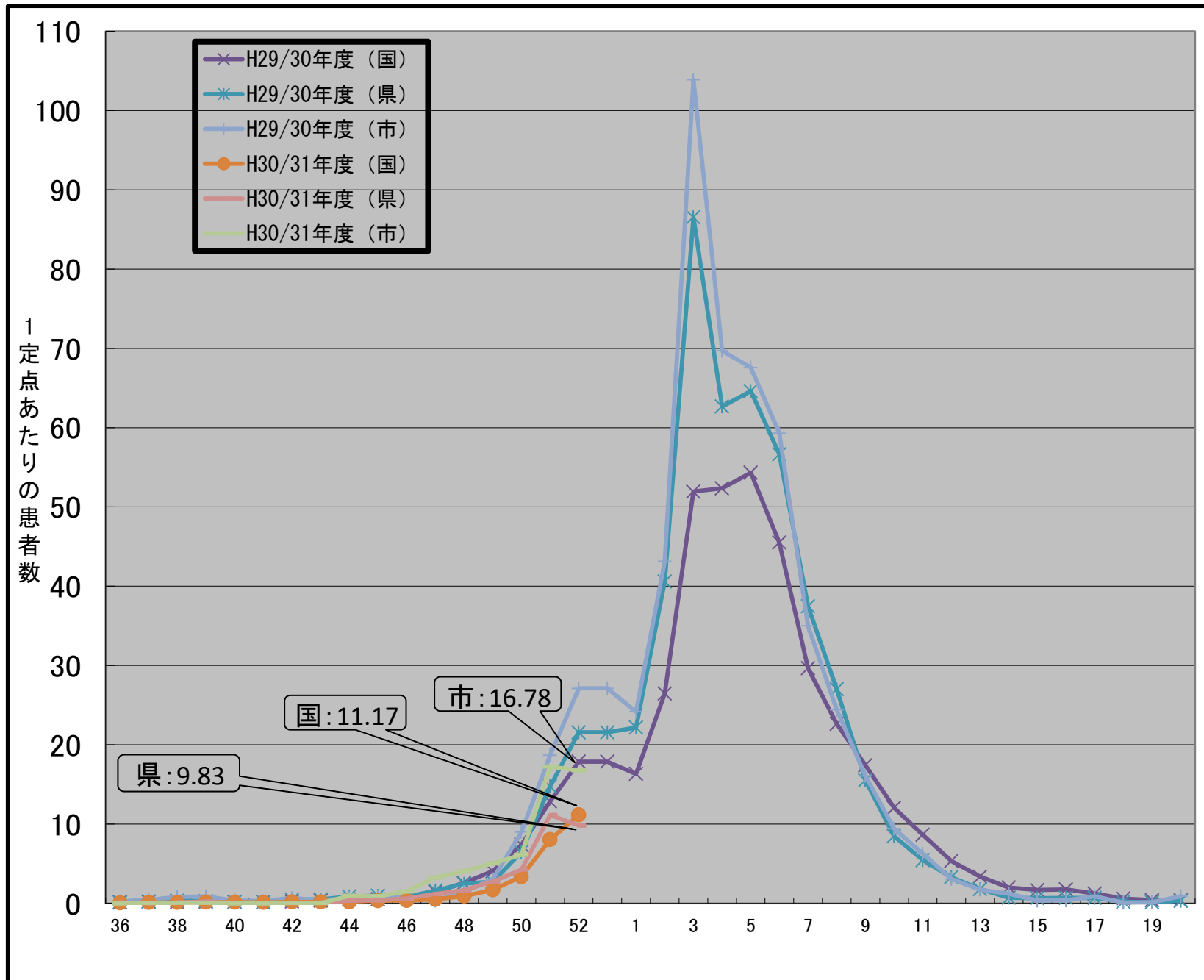


【 流 行 性 角 結 膜 炎 】

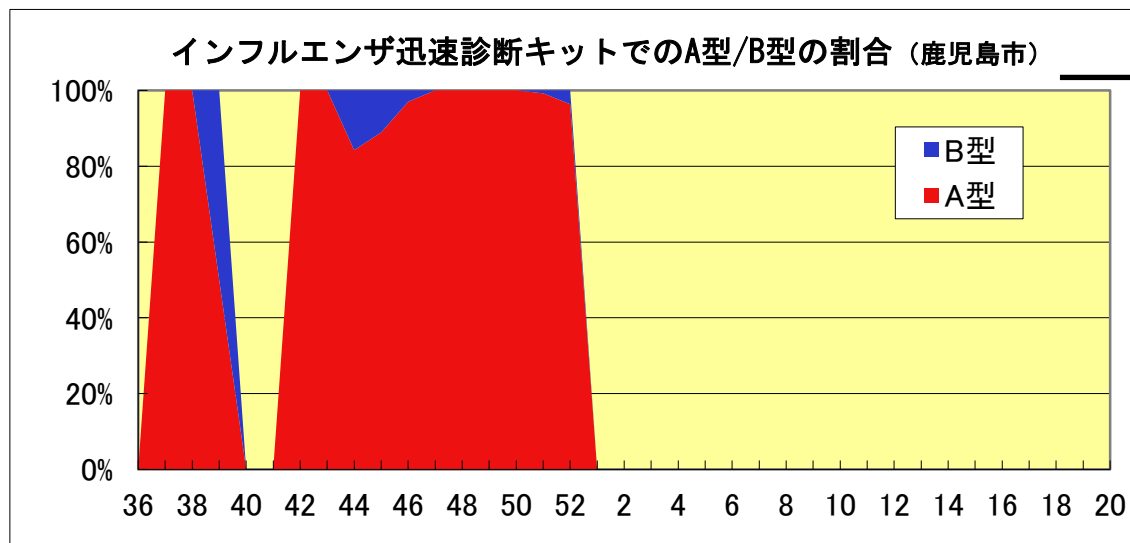
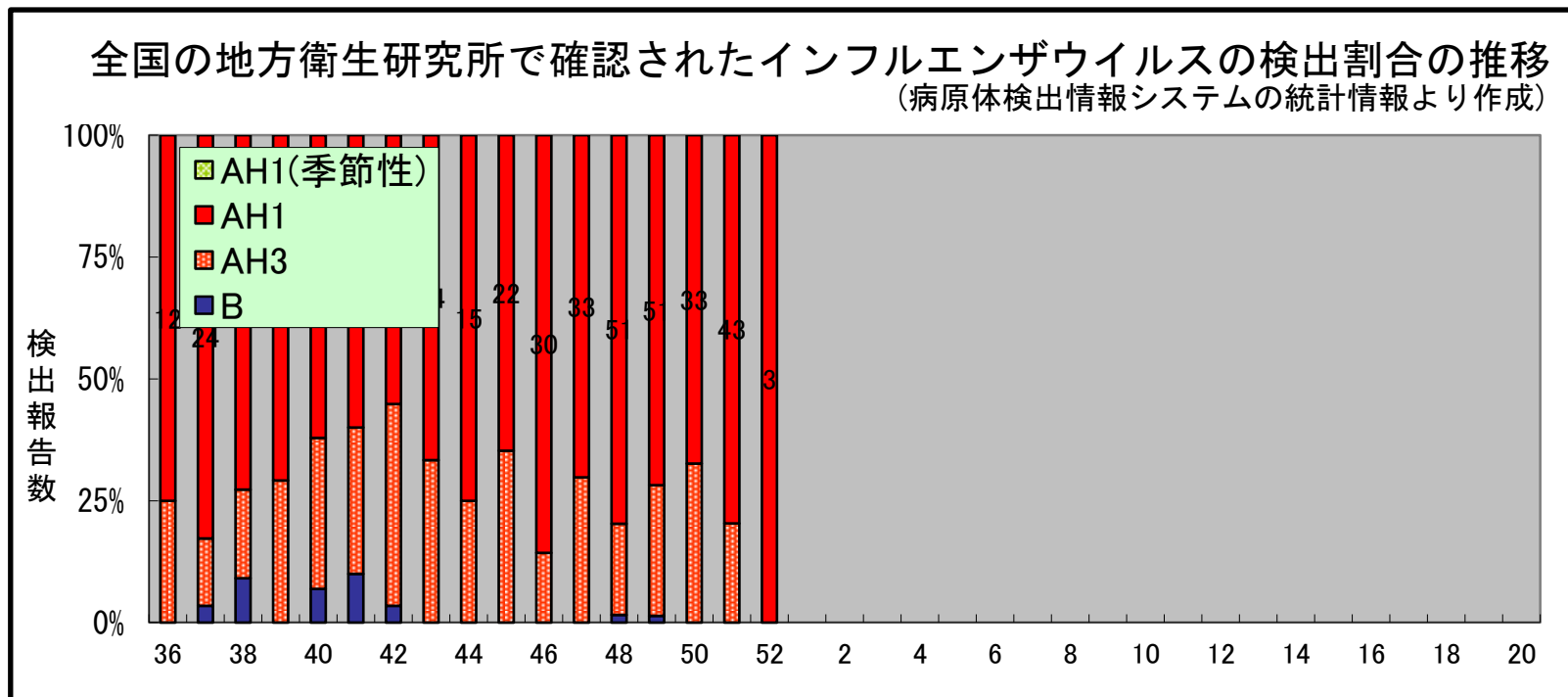


縦軸の値
⇒ 報告数 ÷ 報告義務がある医療機関数
横軸の値
⇒ 報告を受けた週

H29/30/31シーズンにおけるインフルエンザの発生状況(1定点あたりの報告数)



インフルエンザの発生状況(参考資料)



この図は、2018年9月の第36週以降、市内の定点医療機関から報告のあった「検査診断例（迅速診断キットで陽性の反応があった者）」におけるA型/B型の割合を示しています。

置えました。今後の動向に注意してください。

【本市:第 52 週】

迅速診断キットの検査結果

A型:	341 人
B型:	13 人